



# 精神医療センター所報

平成 20 年 度

滋賀県立精神医療センター

# 滋賀県立精神医療センター

## 【理 念】

人権と環境に配慮し、調和にみちた総合的精神医療活動を行う

## 【基本方針】

私達がめざすものは、

- 1 . 保健・福祉を統合した科学的な医療と看護
- 2 . 文化に根ざした患者本位の社会復帰
- 3 . 信頼と協働による地域連携
- 4 . 健全で効率的な運営

## は じ め に

現在、国においては抜本的な医療制度改革が進められており、特に医療費が増加し国の財政を圧迫していることが問題視され、医療費適正化の観点から診療報酬全体でのマイナス改定が続いています。

診療報酬は、診療行為ごとに細かく設定されており、その時々々の緊急課題を踏まえた国の医療政策を反映して個別行為ごとに引上げまたは引下げが行われるため、病院としては、国の医療政策に関する情報を常時収集し、柔軟に対応する体制を構築することが病院経営を行ううえで重要な事項となっています。

また、公立病院の役割については、地域に必要な医療のうち、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供すること（例えば 過疎地 救急等不採算部門 高度・先進 医師派遣拠点機能）、地域において真に必要な公立病院の持続可能な経営を目指し、経営を効率化することが、公立病院改革ガイドラインのポイントとして、平成19年12月に総務省自治財政局長より通知されています。

現在これらの、公立病院を取り巻く厳しい経営環境、医療行政等に適応しうる病院改革の調査、企画、立案を行い、時代のニーズに適合した病院改革を組織的にかつ緊急に実行することが、精神医療センターに求められています。

改革にむけては、地域の精神医療をリードし地域全体の精神医療の向上に貢献できるように、

地域において、相対的に高度で、最新の医療を実施する。「地域の中核病院」として、成果を地域に還元することにより、地域医療全体の向上に貢献する。

研修を希望する医師やコメディカルが集まる。  
という「正のサイクルの確立」が必要です。

具体的には、合理的な業務改善を実施し医師等の専門性を必要とされる職員は、専門業務に従事し、専門性を必要としない業務は、アルバイト、委託職員等が行い、専門職員は、節約できた時間を専門業務能力向上に消費するといったことが必要です。これには、実情に応じて職員配置を自由に行える等の病院経営に関する現場での裁量権の拡大が必要です。

また、「収支均衡への努力」としては、医療観察法関連施設の設置運営、児童思春期病棟、精神科スーパー救急の開設等時代のニーズに即応した新規の取り組みを行い民間医療機関による提供が困難な医療を提供しつつ、増収増益を図り収支の改善を行う必要があります。

ともあれ、滋賀県の財政状況等を考慮すると病院改革は焦眉の急であり、われわれは病院の存続をかけて改革の実施に取り組む必要があります。

所報を謹呈いたしますが、ご指摘の点がありましたら、忌憚なく申しつけください。皆様のご意見を参考によりよい運営に努めていきたいと考えております。

平成 21 年 9 月

滋賀県立精神医療センター 病院長  
辻 元 宏

# . 総 括 編

## 1 . 精神医療センターの概要

滋賀県立精神医療センターは、本県の精神保健対策を進めるに当たり、県下の精神保健活動の中核を担う施設として平成4年6月に竣工、同年9月から業務を開始した「精神保健総合センター」の精神科病院としてスタートした。

施設は、びわこ文化公園都市の福祉の文化クラスター内に位置し、みどりに囲まれた56,000平方メートル余りの広々とした敷地内にある。建物は、100床の病棟を含め延床面積8,100平方メートル余りで、明るい雰囲気を保っており、敷地内には地域の方々との交流を深めるためのテニスコート(2面)、グラウンドおよび憩いの庭園を設けた「ふれあい広場」がある。ほかに、職員宿舎2棟(40戸)がある。

「精神保健総合センター」は「精神保健福祉センター」「精神科デイ・ケア施設」「精神科病院」の3つの機能を有する総合センターとして設置されたが、平成18年4月から「精神医療センター」と「精神保健福祉センター」の2センターに組織改編され、当センターは地方公営企業法全部適用の病院となるとともに、センター間の連携を緊密にし、有機的に関連づけることによって精神保健医療の拠点施設としての役割を担うこととなった。

業務は、診療部門では、精神科・神経内科・内科で構成され、思春期、アルコール依存症、内科合併症、および緊急医療を中心に、MRI等最新医療機器を活用した精神に関する専門医療を行い、精神科デイ・ケアではプログラムに基づき社会復帰訓練等を行っている。

組織は、病院長、次長の下に、事務局、診療局、看護部、地域生活支援室の4部局室制で局長および部室長が各部局室を総括している。職員は91名(平成20年度末現在)で、内訳は病院長1名、次長1名、事務局6名(事務局長は次長が兼務)、診療部門(診療局各科、看護部)専任78名、兼務5名、事務取扱1名、地域生活支援室5名(室長は診療局長が兼務)、兼務2名を配置し、部門間の連携を図るため、相互の兼務を行っている。

経営は、約15億円の規模である。収支状況をみると、総収益は14億9,389万円で、総費用は14億8,680万円で差引709万円の経常利益を計上し、前年度に引き続き黒字決算となった。医業収益は8億8,111万円で、医業費用は13億8,415万円であり、医業費用対医業収益の比率をみると157.1%であり、収支のバランスが悪い状況となっている。引き続き一層の経営努力を行い、収支の改善を図るとともに、関係機関との連携を深めながら、県民の精神的健康の保持向上の拠点施設として、精神保健医療体制の充実強化に努めていくことが必要である。

所在地 滋賀県草津市笠山八丁目4 - 25

敷地面積(＊) 56,870 平方メートル(うち地域ふれあい広場 10,700 平方メートル)

構造 鉄筋コンクリート2階建

規模(＊) 延床面積 8,151.09 平方メートル

病床数 100 床

建設総事業費(＊) 54 億 1 千 3 百万円(職員宿舎を含む)

(＊) 精神保健福祉センター敷地面積、事業費等含む

開設年月日 平成4年6月1日(9月1日から業務開始)

職員数 定数 96 名(平成20年度末現員 91 名)

診療科目 精神科 神経内科 内科

設立の理念 地域医療機関や保健所等関係機関との密接な連携と役割分担のもと、思春期精神障害、アルコール依存症等精神障害、その他の適応障害の発生予防、治療および社会復帰援助を総合的・専門的に行い、地域ケア体制の形成を進め、県下の精神医療の拠点施設として向上を図る拠点となることを目指す。

業務内容 外来診療 精神科、神経内科、内科

入院診療 100 床(4年度 50 床)

地域医療機関との連携を行い、思春期精神障害、アルコール等中毒性精神障害、精神障害と内科疾患との合併症、精神科緊急対応等を中心とした医療の提供

入院治療を行い、早期の社会復帰、社会参加の促進

地域医療機関や保健所等関係諸機関との有機的連携による、予防から治療、社会復帰までの一貫した援助の確保

医師、看護師、ケースワーカー、臨床心理士、作業療法士等各職種によるチーム医療の実施

適時適温給食の実施

MRI、CT 等高度専門医療機器の導入

外来診療 精神科デイ・ケア(定員 40 名)

回復途上の精神障害者に対する生活機能の回復訓練

地域における社会復帰活動の援助育成

## 2 . 沿 革

### 1 . 設立の目的

複雑化し、目まぐるしく変化する社会の中で、精神保健活動の普及・推進は、県民の生活と福祉のために重要な課題であった。

本県では、精神保健福祉センター、県立精神病院が未整備であったが、県民のあらゆる精神保健のニーズに総合的、専門的に対応し、精神的健康の保持向上から精神障害の予防・治療・社会復帰までの一貫した、きめこまやかなサービスの提供を保健・医療・福祉等関係諸機関との連携・協力のもとに行う、精神保健活動の中核を担う施設として、精神保健福祉センターを核に県立精神病院（100床）精神科デイ・ケア施設（定員40名）を併設する全国2番目の総合施設として滋賀県立精神保健総合センターを設置した。

平成4年6月に開設し、9月から業務の開始をした。その運営方針は以下の4項目である。

- (1) 保健所その他の関係諸機関との連携のもとに、広報普及・精神保健相談等を行い、県民の精神的保健の保持および向上を図る。
- (2) 地域医療機関との役割分担により精神障害者等に対して専門的診療および援助、早期の社会復帰を図り、県民に対し総合的な精神科医療の提供を行う。
- (3) 回復途上の精神障害者に対して社会復帰訓練を行うとともに、県民の精神障害者への理解の促進等、地域における受入れ体制の整備を図る。
- (4) 精神保健に関する技術および情報の総合的センターとして、技術協力・教育研修・調査研究・情報提供等を行い、保健所をはじめ関係諸機関における精神保健関連業務を支援する。

この運営方針のもとで県民の精神保健の向上を図る拠点として活動した。

平成18年4月、「精神保健福祉センター」「精神医療センター」の2センターに組織改編し、相互に連携しながら精神保健活動を行っている。

## 2. 経緯

昭和 52 年	6 月	県議会「精神保健総合施設設置について」の請願選択
昭和 59 年	6 月	県議会「精神保健総合施設整備について」知事表明
昭和 60 年	4 月	精神保健総合施設整備構想に係る調査の委託
昭和 61 年	3 月	「精神保健総合施設整備構想に関する調査報告書」の提出
昭和 61 年	8 月	滋賀県地方精神衛生審議会に報告
昭和 62 年	5 月	精神保健総合センター（仮称）システム検討委員会設置
昭和 62 年	9 月	「精神保健総合センター（仮称）整備の基本的在り方について」報告
昭和 62 年	11 月	企画設計の委託
昭和 63 年	3 月	「精神保健総合センター（仮称）基本計画に関する報告書」の提出
昭和 63 年	4 月	県立病院係設置
昭和 63 年	6 月	滋賀県精神保健システム検討委員会設置
昭和 63 年	6 月	プロジェクトチーム「基本設計対策チーム」、「運営計画検討チーム」の設置
昭和 63 年	11 月	プロポーザル方式により基本設計委託業者を決定
昭和 63 年	12 月	基本設計開始
平成元 年	3 月	「精神保健総合センター（仮称）基本設計説明書」の提出 「滋賀県における精神医療保健活動の基本的あり方」中間報告 滋賀県精神保健システム検討委員会
平成元 年	4 月	精神保健総合センター開設準備室の設置
平成元 年	5 月	実施設計開始
平成元 年	10 月	地質調査開始
平成元 年	11 月	地域ふれあいの広場実施設計開始 地質調査完了
平成 2 年	2 月	地域ふれあいの広場地質調査開始
平成 2 年	3 月	実施設計完了
平成 2 年	12 月	精神保健総合センター起工
平成 3 年	10 月	地域ふれあいの広場起工
平成 4 年	1 月	植栽緑化工事起工
平成 4 年	3 月	地域ふれあいの広場竣工
平成 4 年	5 月	部分竣工
平成 4 年	6 月	竣工 開設 精神保健センター部門業務開始
平成 4 年	9 月	病院部門業務開始 外来、入院業務（50 床）
平成 4 年	10 月	精神科デイ・ケア部門業務開始
平成 5 年	4 月	こころの電話相談業務開始（077）567-5560（こころまる） 労災保険指定病院の指定

平成 5 年 5 月 100 床にフルオープン  
平成 5 年 10 月 結核予防法指定医療機関の指定  
原爆被爆者一般疾病医療機関の指定  
平成 6 年 2 月 第 1 回運営協議会開催  
平成 6 年 10 月 新看護体系移行  
平成 7 年 7 月 「精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律」施行  
平成 7 年 11 月 精神障害者就労相談業務開始  
平成 9 年 4 月 滋賀県精神科救急医療システム事業開始  
精神科救急医療施設の指定  
平成 11 年 4 月 臨床研修指定病院の指定（協力病院）  
平成 12 年 6 月 応急入院指定病院の指定  
平成 13 年 1 月 病棟増改築工事实施設設計開始  
平成 13 年 8 月 病棟増改築工事起工  
平成 14 年 3 月 病棟増改築工事竣工  
平成 15 年 3 月 ISO14001 認証取得  
平成 17 年 7 月 指定通院医療機関の指定  
平成 17 年 9 月 （財）日本医療機能評価機構 病院機能評価（Ver.4.0）認証取得  
平成 18 年 4 月 地方公営企業法全部適用  
組織改編に伴い、精神医療センターに名称変更  
平成 20 年 3 月 病院情報システム（オーダリングシステム）導入

### 3. 施設

#### 1. 施設の概要

(1) 位置 草津市笠山八丁目4-25

(2) 土地 56,870 m<sup>2</sup> (うち地域ふれあいの広場 10,700 m<sup>2</sup>)

(3) 建物

名称	構造	特別面積 (m <sup>2</sup> )				
		1 階	2 階	塔屋	延面積	
本館	RC造 (一部SRC造)	4,964.25	2,685.94	89.79	7,739.98	
附属棟	RC造	168.00			168.00	倉庫、マニホールド、 コンプレッサー、 ごみ置場、ガスメーター
車庫	RC造	96.70			96.70	
薬品排水 機械室	RC造	9.55			9.55	
浄化槽 機械室	RC造	27.19			27.19	(倉庫に転用)
焼却炉棟	鉄骨造	16.00			16.00	(休止中)
自転車置場	鉄骨造	53.66			53.66	
便所・用具 倉庫	RC造	40.01			40.01	(地域ふれあいの広場)
合計		5,375.36	2,685.94	89.79	8,151.09	

#### (4) 病棟構造

階	病棟名	総病床数	個室	4床室	2床室	保護室
1 階	第1病棟	50床	12室	9室		2室
2 階	第2病棟	50床	12室	8室	2室	2室
合計		100床	24室	17室	2室	4室

## 2. 付属設備

設備名	設備機器	数量	概要
電気設備	受変電設備	1式	6KV 受電設備容量 675KVA
	非常用発電機	1式	210V 200KVA ディーゼルエンジン
	配電方式	1式	動力 3 3W/200V 電灯 1 3W210/105V
弱電設備	電話交換設備	1式	デジタル電子交換器 容量 32回線 実装 16回線 内線 容量 256回線 実装 144回線
	PHS	1式	送信機(アンテナ付き) 屋内 9台 屋外 3台 受信機 31台
	ポケットベル	1式	送信機(アンテナ付き) 屋内 5台 屋外 3台 受信機 13台
	ナースコール	4台	自動聴取ナースコール 親機 30局 2台 子機 67台 緊急呼出表示器 8台
防災設備	スプリンクラー	1式	900ℓ/mm×71m 18.5kW 水槽容量 16.0 m <sup>3</sup> ヘッド 990個
	補助散水栓		17基
	ハロン消化設備	1台	コンピューター室
	粉末消火設備	4台	厨房
	自動火災報知器	1式	受信機 GP型 1級 55回線 副受信機 4台
	誘導灯設備 その他	1式	82台 消火器 40本
給排水設備	受水槽	1台	FRP パネルタンク 2槽式 容量 70 m <sup>3</sup>
	高架水槽	1台	FRP パネルタンク 2槽式 容量 35 m <sup>3</sup>
	揚水ポンプ	2台	11kW 1200ℓ/mm×32mH
	貯湯槽	2槽	ステンレスクラッド製立型 300ℓ 温度 50 電気防食装置付
	医療用ガス		酸素 空気
空調設備	冷温水発生機	2台	冷房能力 453,600kcal/h(150USRT) 暖房能力 379,500kcal/h 燃料 都市ガス 13A
	冷却塔	2台	開放式超低騒音型 冷温水発生機用 冷却能力 825,500kcal/h(150USRT)
		1台	開放式超低騒音型 水熱源用 冷却能力 234,000kcal/h(60URST)
	蒸気ボイラー	2台	炉筒煙管式 換算蒸発量 3,000kg/h 伝熱面積 29.2 m <sup>2</sup> 最高使用圧力 10kg/c m <sup>2</sup> 使用圧力 8 kg/c m <sup>2</sup> 燃料 都市ガス 13A
			貫流型 換算蒸発量 500kg/h 伝熱面積 4.95 m <sup>2</sup> 最高使用圧力 10kg/c m <sup>2</sup> 使用圧力 8 kg/c m <sup>2</sup> 燃料 都市ガス 13A
	空気調和機	10台	エアハンドリングユニット
	ファンコイル	156台	
パッケージエア コン	51台 8台	水熱源ヒートポンプエアコン 空冷式ヒートポンプエアコン	
空調方式		中央監視方式 ファンコイル、空調機併用	
搬送設備	エレベーター	1台	寝台用 15名乗 45m/min
	ダムウェーター	1台	配膳用 500kg 15m/min

### 3.主要備品

品名	型式	数量	備考
〔内科診察〕 電子内視鏡システム	EVIS200 システム (オリンパス)	1	
超音波診断装置	XarioXG (東芝)	1	
〔検査〕 血液自動分析装置	ヘマトロジーアナライザーHmX (コールター)	1	
生化学自動分析装置	TBA-120FR (東芝)	1	
検査情報システム	CLIP (日立)	1	
血液ガス分析装置	i-STAT ガスシステム (ラジオメーター)	1	
脳波計	EEG-1518 他 (日本光電)	1	
〔放射線〕 磁気共鳴断層撮影装置	マグネトム IMPACT (シーメンス)	1	
X線CT装置	SOMATOM Spirit (シーメンス)	1	
明室システム	FCR システム (富士メディカル)	1	
診断用 X 線 TV 装置	DTW-220A (東芝メディカル)	1	
〔薬局〕 全自動錠剤分包機	Xana-2720EU (トーショー)	1	
〔事務局〕 病院情報システム	医事会計システム HAPPY CS (東芝) オーダリングシステム ARTERIA オーダー・ インフォメーションシステム (東芝) 他	1 1	

購入金額 500 万円以上

### 4.職員宿舎

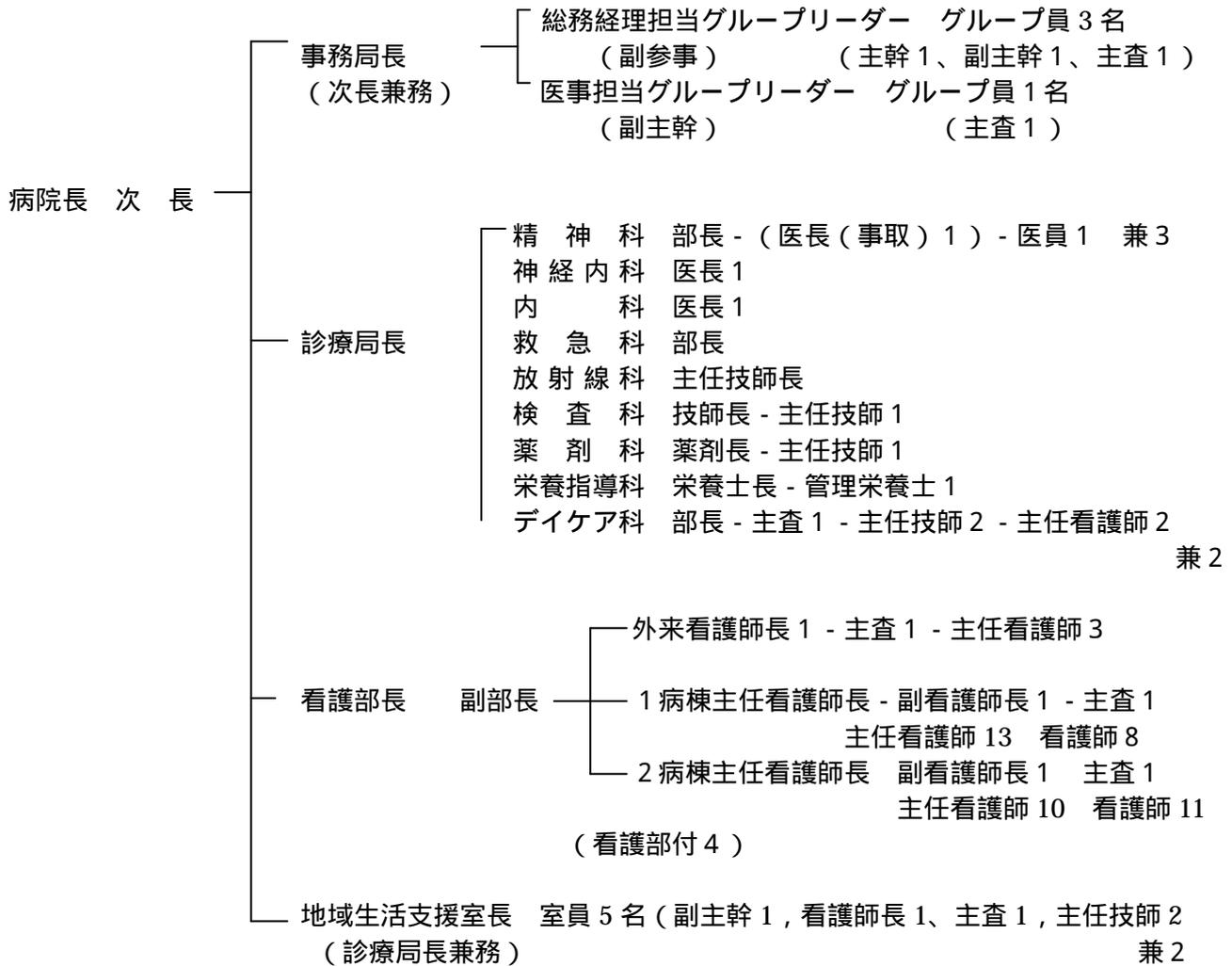
			看護職員宿舎	草津職員宿舎
所在地			草津市笠山 8 丁目 4 - 91	草津市東矢倉 3 丁目 39 - 40
構造			RC 造 3 階建	RC 造 3 階建
建築面積			282.73 m <sup>2</sup>	300.16 m <sup>2</sup>
延べ面積			795.71 m <sup>2</sup>	900.48 m <sup>2</sup>
戸数			28 戸	12 戸
タイプ			1K	3DK
一戸当たりの占有面積 (ベランダを除く)			25.55 m <sup>2</sup>	68.58 m <sup>2</sup> (6 戸) 68.72 m <sup>2</sup> (6 戸)
付属建物			自転車置場・機械室	自転車置場・物置

## 4. 組 織

### 1. 組織および現員

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

現員 91 名



### 2. 職種別職員数

職 種	医師	看護師	保健師 (PSW)	薬剤師	放射線技師	臨床検査技師	管理栄養士	作業療法士	判定員	ケースワーカー	事務	合計
定 数	11	63	1	2	2	2	2	3	2	1	7	96
現 員	8	62	1	2	1	2	2	3	2	1	7	91
内 訳	精神病院	7	60	1	2	1	2	2	1	1	7	85
	精神科 デイ・ケア	1	2					2	1			6

## 5 . 経 営

### 1 . 20年度決算状況

#### ( 1 ) 収益的収入および支出

##### (ア) 事業収入に関する事項

項	目	収入金額 (円)	構成比	
医 業 収 益		881,114,098	100.0%	59.0%
	入 院 収 益	418,323,853	47.5%	28.0%
	外 来 収 益	185,856,142	21.1%	12.5%
	そ の 他 医 業 収 益	276,934,103	31.4%	18.5%
医 業 外 収 益		612,777,584	100.0%	41.0%
	受 取 利 息 配 当 金	11,916,252	1.9%	0.8%
	補 助 金			
	負 担 金 交 付 金	596,152,286	97.3%	39.9%
	そ の 他 医 業 外 収 益	4,709,046	0.8%	0.3%
合 計		1,493,891,682		100.0%

##### (イ) 事業費に関する事項

項	目	支出金額 (円)	構成比	
医 業 費 用		1,384,147,789	100.0%	93.2%
	給 与 費	899,504,977	65.0%	60.5%
	材 料 費	97,030,613	7.0%	6.5%
	経 費	210,419,623	15.2%	14.2%
	減 価 償 却 費	161,217,764	11.6%	10.9%
	資 産 減 耗 費	1,470,110	0.1%	0.1%
	研 究 研 修 費	5,021,514	0.4%	0.4%
	本 部 費 負 担 金	9,483,188	0.7%	0.6%
医 業 外 費 用		90,784,346	100.0%	6.0%
	支払利息および企業債取扱諸費	73,402,296	80.8%	4.9%
	繰 延 勘 定 償 却	2,068,597	2.3%	0.1%
	雑 損 失	15,313,453	16.9%	1.0%
特 別 損 失		11,867,666	100.0%	0.8%
	過 年 度 損 益 修 正 損	11,867,666	100.0%	0.8%
合 計		1,486,799,801		100.0%

( 2 ) 資本的収入および支出

ア. 資本的収入

項	目	収入金額 ( 円 )	構成比
企業債	企業債	29,200,000	51.0%
補助金	補助金		
負担金	負担金	28,095,000	49.0%
諸収入	諸収入		
合	計	57,295,000	100.0%

イ. 資本的支出

項	目	支出金額 ( 円 )	構成比
建設改良費	建物費	262,500	0.2%
	工事費	10,880,100	7.9%
	有形固定資産	19,146,262	13.8%
	無形固定資産		0.0%
企業債償還金	企業債償還金	106,907,437	77.1%
投資	投資金	1,364,000	1.0%
合	計	138,560,299	100.0%

( 3 ) 診療科別患者数および収益調

単位 ( 人・円 )

区分		外来	入院	計
精神科	患者数	21,068	28,000	49,068
	収益額	137,555,713	418,323,853	555,879,566
内科	患者数	1,359		1,359
	収益額	13,111,170		13,111,170
計	患者延数	22,427	28,000	50,427
	収益額	150,666,883	418,323,853	568,990,736
	患者1人収益	6,718	14,940	11,283
デイケア	患者数	5,134		5,134
	収益額	35,192,530		35,192,530

( 4 ) 損益計算書 ( 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで )

( 単位 円 )

1 医業収益			
(1) 入院収益	418,323,853		
(2) 外来収益	185,856,142		
(3) その他医業収益	<u>276,934,103</u>	881,114,098	
2 医業費用			
(1) 給与費	899,504,977		
(2) 材料費	97,030,613		
(3) 経費	210,419,623		
(4) 減価償却費	161,217,764		
(5) 資産減耗費	1,470,110		
(6) 研究研修費	5,021,514		
(7) 本部費負担金	<u>9,483,188</u>	<u>1,384,147,789</u>	
医業損失			503,033,691
3 医業外収益			
(1) 受取利息配当金	11,916,252		
(2) 補助金	0		
(3) 負担金交付金	596,152,286		
(4) 患者外給食収益	0		
(5) その他医業外収益	<u>4,709,046</u>	612,777,584	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業 債取扱諸費	73,402,296		
(2) 繰延勘定償却	2,068,597		
(3) 患者外給食材料費	0		
(4) 雑損失	<u>15,313,453</u>	<u>90,784,346</u>	<u>521,993,238</u>
経常利益			18,959,547
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>11,867,666</u>	<u>11,867,666</u>	<u>11,867,666</u>
当年度純利益			7,091,881
前年度繰越欠損金			<u>179,783,487</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>172,691,606</u></u>

(5) 貸借対照表(平成21年3月31日)

(単位 円)

		資 産 の 部					
1	固定資産	土地建物	構築物	減価償却累計額	器具備品	固定資産合計	
(1)	イ 土地建物	1,010,977,990	4,021,724,563	1,993,225,061	550,346,980	3,373,425,406	
	ハ 構築物		415,528,294	237,597,502	394,681,016		
	二 減価償却			1,318,409			
	ホ 器具備品			967,251			
	ヘ 固定資産					0	
(2)	イ 無形固定資産					3,562,728	
(3)	イ 出資					0	
	固定資産合計					3,562,728	
	流動資産					1,364,000	
2	現金					1,294,900,658	
(1)	未貯前					113,537,881	
(2)	その					3,939,698	
(3)	流動資産合計					0	
(4)	流動資産合計					700,000,000	
(5)	流動資産合計					2,112,378,237	
3	除対延					11,265,263	
(1)	除対延					11,265,263	
	流動資産合計					5,501,995,634	
負債の部							
4	固定負債					0	
(1)	固定負債					0	
5	流動負債					106,238,242	
(1)	流動負債					0	
(2)	流動負債					5,521,339	
(3)	流動負債					111,759,581	
	流動負債合計					111,759,581	
資本の部							
6	自己資本					2,489,645,485	
(1)	自己資本					1,477,723,491	
(2)	自己資本					0	
	自己資本合計					1,477,723,491	
7	剰余金					1,343,168,683	
(1)	剰余金					0	
	剰余金					179,523,000	
	剰余金					72,867,000	
	剰余金合計					1,595,558,683	
(2)	剰余金					172,691,606	
	剰余金					172,691,606	
	剰余金					1,422,867,077	
	剰余金					5,390,236,053	
	剰余金					5,501,995,634	

## . 診 療 部 門

# 概 要

## 1．人員構成

20年度の診療局の人員は、精神科医師（7人・内兼務3人）、内科医師（1人）、看護師（61人）、保健師（1人）、薬剤師（2人）、放射線技師（1人）、臨床検査技師（2人）、管理栄養士（2人）、作業療法士（2人・内兼務1人）、臨床心理士（1人・兼務1人）である。

なお、20年度より診療局から組織分離・独立した地域生活支援室は、精神科医師（診療局長兼務）を室長とし、以下ケースワーカー（2人）、看護師（1人）、作業療法士（1人）、臨床心理士（1人）の5名の人員で構成している。

## 2．施設

施設は、2病棟100床の入院病床を持ち、検査機器として、MR装置、CT装置、内視鏡機器、超音波装置などを有し、器質性精神障害や中毒性精神障害、内科的合併症等の患者の診断治療にも対処できる体制が整えてある。こうした高度医療機器は、当センターの診療以外にも地域医療機関からの検査予約も受け付け、広く一般に開放している。

## 3．入院診療

1階第1病棟（50床）は、アルコール依存症を対象としたアルコール依存症リハビリテーションプログラムを中心とした治療、結核予防法による隔離が必要な精神障害者の治療、2階第2病棟（50床）では思春期青年期精神障害を中心とした治療を行っている。

## 4．外来診療

外来診療は、新規来患者は予約制を原則とし、精神科一般外来を月曜日から金曜日まで2診ないし3診開き、特殊外来はアルコール外来（水曜日、金曜日）、思春期外来（火曜日、木曜日）を設置し、それぞれ2診で対応している。また緊急患者の依頼や時間外受診患者には、救急外来当番を設置し、迅速に対応できるように配慮した。内科外来は月曜日から金曜日まで1診行い、精神科受診患者の内科診療のほか、一般内科診療も受け付けている。

## 5．その他

- （1）診療局会議を第4月曜日に開催し、現在の患者利用状況の把握、診療場面での各職種間での連携の確認を行っている。
- （2）県内での精神鑑定業務には、精神科医師を積極的に派遣し、滋賀県の精神保健業務が円滑に遂行できるように協力している。

## 1 . 外来診療状況

### 1 . 月別外来患者数

外来患者延数は 22,427 人、外来診察日数は 243 日で 1 日平均外来患者数は 92.3 人となり、年度途中での医師の退職もあって、外来患者延数・1 日平均外来患者数ともに減少し、平成 19 年度比 85.9%となった。

科別内訳では、精神科 21,068 人 (93.9%)・内科 1,359 人 (6.1%) で、うち初診患者数を見ると、精神科 527 人 (77.4%)・内科 154 人 (22.6%) となっている。

### 2 . 保健所別実診療人数および市町村外来実患者数

保健所別実診療人数を見ると、地元の草津保健所 5,361 人 (32.5%) と大津保健所 4,640 人 (28.1%) とで約 60%を占めており、次に東近江保健所 2,399 人 (14.5%)、甲賀保健所 2,101 人 (12.7%) の順となっている。

市町村別外来実患者数では、大津市が 4,640 人 (28.1%)、次いで草津市 2,581 人 (15.6%)、甲賀市 1,306 人 (7.9%)、栗東市 1,185 人 (7.2%) の順となっている。

### 3 . 疾患別実人数

精神科の疾患別実人数を見ると、統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害が 3,744 人 (22.7%) と最も多く、気分 (感情) 障害 3,310 人 (20.0%)、神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 2,630 人 (15.9%)、アルコール使用による障害 2,149 人 (13.0%) の順となっている。

### 4 . 年齢別実人数

年齢別実人数を見ると、30～39 歳が 4,014 人 (24.3%)、50～64 歳が 3,695 人 (22.4%)、40～49 歳が 3,056 人 (18.5%) の順となっている。

### 5 . 男女別実人数

男女別実人数を見ると、男性 8,711 人 (52.8%)、女性 7,798 人 (47.2%) と男性が多くなっている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比	
(外来診療日数)		(21)	(20)	(21)	(22)	(21)	(20)	(22)	(18)	(19)	(19)	(19)	(21)	(243)		
外来患者延べ数	精神科	2,039	1,936	1,762	1,990	1,792	1,779	1,883	1,535	1,601	1,606	1,515	1,630	21,068	93.9%	
	内科	136	110	134	124	110	88	115	104	104	110	92	132	1,359	6.1%	
	計	2,175	2,046	1,896	2,114	1,902	1,867	1,998	1,639	1,705	1,716	1,607	1,762	22,427	100%	
うち初診患者数	精神科	41	40	45	47	45	56	46	39	44	41	42	41	527	77.4%	
	内科	14	6	20	14	9	15	14	15	11	11	14	11	154	22.6%	
	計	55	46	65	61	54	71	60	54	55	52	56	52	681	100%	
1日平均外来患者数	精神科	97.1	96.8	83.9	90.5	85.3	89.0	85.6	85.3	84.3	84.5	79.7	77.6	86.7	93.9%	
	内科	6.5	5.5	6.4	5.6	5.2	4.4	5.2	5.8	5.5	5.8	4.8	6.3	5.6	6.1%	
	計	103.6	102.3	90.3	96.1	90.6	93.4	90.8	91.1	89.7	90.3	84.6	83.9	92.3	100%	
保健所別診療実人数	大津保健所	403	404	405	433	402	397	386	361	358	377	342	372	4,640	28.1%	
	草津保健所	466	448	465	467	473	445	461	411	413	447	415	450	5,361	32.5%	
	甲賀保健所	199	189	190	192	180	165	166	165	172	161	163	159	2,101	12.7%	
	東近江保健所	216	203	194	193	203	201	196	187	204	204	192	206	2,399	14.5%	
	彦根保健所	51	50	53	50	44	50	58	45	48	56	55	54	614	3.7%	
	長浜保健所	49	48	47	53	44	44	47	39	41	39	39	41	531	3.2%	
	高島保健所	26	26	26	33	27	25	30	24	30	22	23	23	315	1.9%	
	県外	50	51	55	51	54	39	42	48	53	33	35	37	548	3.3%	
	計	1,460	1,419	1,435	1,472	1,427	1,366	1,386	1,280	1,319	1,339	1,264	1,342	16,509	100%	
疾患別実人数	F0	アルツハイマー型認知症	2	2	0	2	0	1	2	1	3	3	2	2	20	0.1%
		血管性認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0.0%
		その他器質性精神障害	18	10	7	12	14	11	12	14	11	13	11	13	146	0.9%
	F1	アルコール使用による障害	192	183	177	165	180	187	183	176	182	185	168	171	2,149	13.0%
		覚せい剤使用による障害	3	0	0	0	0	2	2	2	3	3	3	3	21	0.1%
		その他精神作用物質使用による障害	12	7	8	9	10	7	9	8	11	10	11	10	112	0.7%
	F2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	330	319	311	326	304	310	323	302	311	314	294	300	3,744	22.7%
	F3	気分(感情)障害	319	288	277	286	278	273	270	260	263	273	255	268	3,310	20.0%
	F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	265	214	222	233	226	218	222	202	212	203	198	215	2,630	15.9%
	F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	44	39	40	37	39	28	34	28	23	26	19	18	375	2.3%
	F6	成人の人格および行動の障害	18	17	12	12	14	12	13	14	11	11	10	12	156	0.9%
	F7	精神遅滞	17	15	6	16	15	16	15	15	15	18	17	16	181	1.1%
	F8	心理的発達障害	29	32	28	32	34	32	30	22	20	20	20	19	318	1.9%
	F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	2	3	2	4	4	3	2	1	2	3	3	1	30	0.2%
	G4	てんかん	3	2	4	2	2	1	2	1	2	2	1	4	26	0.2%
	その他の神経系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	内科・検査患者等	206	288	341	336	307	265	267	234	250	254	251	289	3,288	19.9%	
	計	1,460	1,419	1,435	1,472	1,427	1,366	1,386	1,280	1,319	1,339	1,264	1,342	16,509	100%	
年齢別実人数	20歳未満	78	73	72	68	71	63	62	51	50	44	41	41	714	4.3%	
	20歳～29歳	268	259	273	287	257	238	249	225	214	229	217	242	2,958	17.9%	
	30歳～39歳	340	335	344	352	350	328	335	312	334	327	324	333	4,014	24.3%	
	40歳～49歳	270	245	259	267	260	267	275	234	249	256	239	235	3,056	18.5%	
	50歳～64歳	335	322	313	322	317	306	288	287	301	305	280	319	3,695	22.4%	
	65歳～74歳	140	148	145	137	138	131	138	137	133	141	125	129	1,642	9.9%	
	75歳以上	29	37	29	39	34	33	39	34	38	37	38	43	430	2.6%	
	計	1,460	1,419	1,435	1,472	1,427	1,366	1,386	1,280	1,319	1,339	1,264	1,342	16,509	100%	
男女別診療実人数	男	763	705	754	739	743	708	721	685	713	731	709	740	8,711	52.8%	
	女	697	714	681	733	684	658	665	595	606	608	555	602	7,798	47.2%	
	計	1,460	1,419	1,435	1,472	1,427	1,366	1,386	1,280	1,319	1,339	1,264	1,342	16,509	100%	



## 2．入院診療状況

### 1．月別入退院患者数および1日平均在院患者数

入院件数は274件で、平成19年度より43件減少し、延べ入院患者数は28,000人で、1,062人(96.3%)減少した。

男女別入院件数は、男性153人(55.8%)、女性121人(44.2%)となっている。

1日平均在院患者数は、76.5人となり、前年の79.4人を下回った。

### 2．保健所別および市町村別入院件数

保健所別入院件数を見ると、地元の草津保健所93人(33.9%)と大津保健所79人(28.8%)とで過半数を占めており、次に東近江保健所32人(11.7%)、続いて甲賀保健所26人(9.5%)の順となっている。県外者は16人(5.8%)となっている。

市町村別入院件数では、大津市が79人(28.8%)、次いで草津市39人(14.2%)、続いて守山市23人(8.4%)、栗東市21人(7.7%)、甲賀市16人(5.8%)、近江八幡市14人(5.1%)の順となっている。

### 3．疾患別入院件数

疾患別入院件数を見ると、統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害が84人(30.7%)と最も多く、気分(感情)障害76人(27.7%)、アルコール使用による障害50人(18.2%)の3疾患で約77%を占めている。

### 4．年齢別件数

年齢別件数を見ると、30～39歳が80人(29.2%)と最も多く、50～64歳が73人(26.6%)、20～29歳が43人(15.7%)の順となっている。

### 5．入院形態別件数

入院形態別件数を見ると、任意入院が168人(61.3%)、医療保護入院が91人(33.2%)、措置入院が14人(5.1%)、鑑定入院が1人(0.4%)となっている。

### 6．平均在院日数および退院件数

平均在院日数は102.2日で平成19年度の90.8日から11.4日長くなっている。

退院件数は274件で入院件数と同数であり、平成19年度の323件から49件減少となっている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比	
入院件数	男	14	9	14	6	14	18	11	9	11	22	8	17	153	55.8%	
	女	9	7	11	12	17	10	10	9	7	11	9	9	121	44.2%	
	計	23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	100.0%	
入院患者延べ数		2,416	2,376	2,115	2,213	2,310	2,476	2,565	2,291	2,175	2,360	2,293	2,410	28,000		
1日平均在院患者数		80.5	76.6	70.5	71.4	74.5	82.5	82.7	76.4	70.2	76.1	81.9	77.7	76.5		
保健所別入院件数	大津保健所	5	7	6	8	8	12	6	2	6	9	5	5	79	28.8%	
	草津保健所	7	3	4	4	11	9	10	9	4	14	5	13	93	33.9%	
	甲賀保健所	2	2	4	3	3	1	0	2	1	5	2	1	26	9.5%	
	東近江保健所	6	2	5	1	5	2	1	2	4	1	1	2	32	11.7%	
	彦根保健所	2	1	1	1	1	0	0	2	0	2	3	1	14	5.1%	
	長浜保健所	1	1	3	0	1	0	2	0	0	0	1	1	10	3.6%	
	高島保健所	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4	1.5%	
	県外	0	0	1	1	2	4	0	1	3	2	0	2	16	5.8%	
計		23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	100%	
疾患別実人数	F0	アルツハイマー型痴呆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		血管性痴呆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		その他器質性精神障害	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	2	0	6	2.2%
	F1	アルコール使用による障害	3	5	4	1	2	8	3	6	6	8	2	2	50	18.2%
		覚せい剤使用による障害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
		その他精神作用物質使用による障害	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1.1%
	F2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	8	4	7	3	12	7	7	2	7	10	8	9	84	30.7%
	F3	気分(感情)障害	7	3	8	5	7	8	9	5	3	9	3	9	76	27.7%
	F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	1	3	0	4	4	2	1	3	1	3	1	5	28	10.2%
	F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	1	3	3	2	1	0	2	0	1	1	0	16	5.8%
	F6	成人の人格および行動の障害	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	5	1.8%
	F7	精神遅滞	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.7%
	F8	心理的発達障害	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1.1%
	F9	小児期および青年期に通常発達する行動および情緒の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
G4	てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
計		23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	100%	
年齢別件数	20歳未満	2	1	2	5	1	1	0	1	1	1	0	0	15	5.5%	
	20歳～29歳	6	1	6	2	6	3	1	1	3	5	4	5	43	15.7%	
	30歳～39歳	8	3	3	6	10	9	9	5	5	10	5	7	80	29.2%	
	40歳～49歳	1	2	5	2	2	5	2	2	3	7	1	7	39	14.2%	
	50歳～64歳	5	8	4	3	10	9	5	7	5	6	7	4	73	26.6%	
	65歳～74歳	1	1	4	0	2	1	3	1	1	4	0	3	21	7.7%	
	75歳以上	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1.1%	
	計		23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	100%
入院形態別	任意入院	16	10	13	10	18	22	13	9	11	19	11	16	168	61.3%	
	医療保護入院(1)	2	4	7	6	6	3	5	5	3	10	2	5	58	21.2%	
	医療保護入院(2)	3	0	4	1	6	2	2	3	3	3	3	3	33	12.0%	
	措置入院	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	14	5.1%	
	応急入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	鑑定入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.4%	
計		23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	100%	
費用負担別	精神保健福祉法	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	14	5.1%	
	医療観察法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.4%	
	生活保護法	5	2	1	2	3	2	0	1	4	3	0	1	24	8.8%	
	児童福祉法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	社会保険 社保	7	6	13	9	12	16	8	11	8	14	9	11	124	45.3%	
	社会保険 国保	8	6	8	5	14	9	10	4	5	15	6	12	102	37.2%	
	社会保険 後期高齢者	0	0	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	6	2.2%	
	労災	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7%	
自賠責・私費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.4%		
計		23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	100%	
病床利用率		80.5	76.6	70.5	71.4	74.5	82.5	82.7	76.4	70.2	76.1	81.9	77.7	76.5		
平均在院日数		120.8	118.8	79.8	119.6	87.2	101.1	109.1	106.6	117.6	92.5	111.9	84.6	102.2		
退院件数		17	24	28	19	22	21	26	25	19	18	24	31	274		
月末在院者数		80	72	69	68	77	84	79	72	71	86	79	74			

病床利用率 =  $\frac{\text{延べ入院患者数}}{\text{許可病床数} \times \text{診療日数}}$

平均在院日数 =  $\frac{\text{延べ入院患者数}}{(\text{入院件数} + \text{退院件数}) / 2}$



3. 平成20年度救急・緊急受診状況

区 分		前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	受診者数	205	11	16	14	24	24	22	20	16	11	14	15	15	202
男女別	男	113	4	4	8	15	11	16	11	9	7	8	11	11	115
	女	92	7	12	6	9	13	6	9	7	4	6	4	4	87
時間別	8:30 ~ 17:15	138	8	1	9	13	15	10	13	11	8	10	7	11	116
	17:15 ~ 22:00	43	1	3	4	4	7	9	3	2	3	1	7		44
	22:00 ~ 8:30	24	2	12	1	7	2	3	4	3		3	1	4	42
曜日別	平日	135	7	14	8	18	19	16	16	12	7	11	6	7	141
	土曜日	38	4	2	4	2	3	4	2	3	3	1	4	6	38
	日・祭日	32			2	4	2	2	2	1	1	2	5	2	23
病症別	脳器・痲呆性疾患	5			1		1			1				1	4
	質性その他	2													0
	精神作用物質	28	1	1		3	2	2	3	2	1	3	1	3	22
	覚せい剤中毒	7	1			1		2					1		5
	その他の中毒	4		1											1
	統合失調症	80	2	5	10	5	9	3	7	7	4	6	4	6	68
	気分障害	37	4	4	1	4	5	10	5	2	4	3	5	3	50
	神経症圏	19	1	5	1	2	5	3	3	4	1	1	2		28
	生理的・身体的	1	1												1
	人格障害	12	1		1	6	2	2	1			1	1		15
	精神発達遅滞	4				3					1				5
	心理的発達遅滞	5							1						1
	小児期・青年期行動傷害	1													0
	てんかん	0													0
その他	0												1	1	2
診察依頼	保健所	19	1	2	1	1			1	1				2	9
	精神科病院	5			1				1						2
	精神科診療所	10		1	1	2	3	1							8
	一般医療機関	14		1			2	3	1					3	10
	警察	14				2	1								3
	福祉施設・機関	1		1									1		2
	救急隊	27	4		1	3	5	2	3	5	1	1	1		26
	家族	85	3	9	9	13	8	11	10	9	6	11	9	8	106
	本人単独	25	3	2	1	2	4	3	3		4	1	3	2	28
その他	5				1	1	2	1	1		1	1		8	
転帰	入院	94	6	3	6	4	9	6	5	3	3	2	4	7	58
	帰宅	110	5	13	8	20	14	16	15	12	8	12	11	8	142
	転医	1					1			1					2
入院形態	任意	21	3		1	1	2	4	1		2		1		15
	医療保護	57	2	1	4	3	7	2	4	2	1	1	3	5	35
	応急措置	0													0
	措置	16	1	2	1					1		1		2	8

## 4 . アルコール医療の現況

当センターでは、平成 4 年の開設当初から地域のニーズに応えるかたちでアルコール依存症に対する専門医療に取り組んでいる。

まず、外来であるが、週 2 日（水、金）アルコール専門外来日を設けて外来診療を行っている。平成 20 年度の当センターの外来初診患者でアルコール依存症（アルコール乱用も含む）と診断されたものは 101 名であった（男性 80 名 女性 21 名）。初診患者数は昨年度（平成 19 年度は 105 名）とほぼ同じであった。初診患者の平均年齢は 52.8 歳（男性 53.3 歳 女性 43.9 歳）で、年齢別に見てみると 40 歳代～60 歳代の患者は 66 名で、全体の 65.4% を占めた。患者の居住地を 3 つの医療圏に分けて見ると湖東・湖北地区が 39 名（38.6%）と最も多く、湖南・中部地区が 35 名（34.6%）、大津・個性地区が 20 名（19.8%）であり県下全域から来所していた。また、他府県からの来所者は 4 名（3.8%）であり、19 年度に比べ増加した。外来ではこの専門外来の他、毎週金曜日にアルコール家族プログラム（第 1～第 3 金曜は家族教室。第 4 金曜は家族ミーティング）を設けている。これはアルコール依存症患者の家族を対象としたプログラムである。家族がアルコール依存症に対する正しい知識と理解を深めることにより、患者の回復の支えとなることとともに、家族自身が無用な消耗や焦りに陥るのを防ぐことを目的としている。

入院治療については開設時から 12 週間のアルコール入院治療プログラム（ARP;Alcoholics Rehabilitation Program）を組んで行ってきたが、20 年度からアルコールクリニカルパスを作成し、最初は 12 週のプログラムでスタートしたが、年度当初から入院治療プログラム 12 週を 9 週に短縮することになり、9 週のパスとして実施している。そのパスを基に入院当初から担当看護師を決め、主治医とともに密に患者とその家族に関わっていくようにしている。また、定期的に病棟全体でカンファレンスを開き、患者の評価と治療目標についてきめ細かく検討している。アルコールに関連した入院治療としてはこの ARP 入院（任意入院）の他、アルコール離脱せん妄やアルコール精神病を対象とした治療（主として医療保護入院）も併せて行っている。平成 20 年度に ARP に入院した患者は計 29 名（男性 24 名 女性 5 名）であった。また、アルコール離脱せん妄またはアルコール精神病で入院した患者は 4 名（男性 4 名）であった。また、アルコールに関連したうつ病で入院した患者は 5 名（男性 5 名）であった。また ARP 入院患者の平均年齢は 54.0 歳（昨年度；52.6 歳）であった。

精神保健福祉センターと連携した医療活動としては、毎週金曜日に開催されているアルコール講座（一般にも公開）には講師として診療部門のスタッフが参加、協力しており、外来患者やその家族にも出席を積極的に勧めている。この講座は入院プログラムにも組み込んでいて、ARP 入院患者には全員出席してもらっている。また、地域との連携の強化にも努めており、平成 9 年度から彦根健康福祉センターのアルコール相談事業に協力して月に一度当センターのアルコール担当医師および保健師が地域でのアルコール相談に参加し

ている。平成 16 年度からは新たに、長浜健康福祉センターのアルコール相談事業にも参加するようになった。

アルコール依存症からの回復には自助グループ(断酒会、AA)への参加が欠かせないが、当センターでも外来患者に参加を強く勧めるとともに、ARP 入院患者には自助グループへの参加をプログラムに組み込んで在院中からどんどん出席してもらおうようにしている。また、県下の断酒会各支部の記念例会や AA のオープンスピーカーズミーティング等には当センターのスタッフも参加し、地域の自助グループとの交流に努めている。当センターにおいても月 1 回、ARP 修了者と外来患者を対象とした自助グループ「さつき会」が開かれている。

アルコール医療には緊密な多職種連携が必要である。そのため当センターでは第 1・3 火曜日にアルコールスタッフミーティング(ASM)を開き、医師、看護師(外来、病棟)、心理士、作業療法士、ケースワーカーが集まってアルコール診療に関する情報、意見交換を行い、おおまかな治療方針の見直しや決定を行っている。

## 5 . 思春期医療の現況

近年、多様な価値観のもとに、どのように生きていけばよいのかがわからなくなり、さまよう若者が増えてきた。それとともに、思春期・青年期の心の問題がクローズアップされるようになり、思春期・青年期の精神障害を専門的に扱う病院のニーズが高まってきている。

そうした社会的背景とニーズを踏まえ、当センターでは、開設以来、積極的に思春期医療を行ってきた。

外来部門では、専門外来として、週2回（火・木曜日）思春期外来を開いている。

入院部門では、単に表面的な精神症状の治療だけにとどまらず、「安心して休める場」「理解してもらえる場」「育つ場」ということを基本的な理念としている。保護的なまなざしを持つスタッフが、ひとりひとりの患者さんに対して丁寧な援助を行い、導いていっている。リハビリ的なアプローチも充実しており、レクリエーション療法、個人・集団生活技能訓練療法、集団精神療法が行われている。

また精神保健福祉部門の活動として、平成11年度より、ひきこもり家族教室、摂食障害家族教室を、また平成13年度より分裂病圏家族教室を開催し、家族への積極的に支援を行っている。

このような形で各部門がそれぞれに活動しているが、センター全体としては、これらの活動をより有機的・系統的・組織的なものとするために、定期的にPSM（思春期スタッフミーティング）を開催している。これは、

- 1．各々のスタッフの情報交換を密にしてセンター全体で思春期問題に取り組む。
- 2．様々な病態を示す患者を通して思春期心性を理解・研修し、それを日常の臨床に生かす。
- 3．新たな治療的取り組みをセンター全体で考え、実行に移す。

以上3点を目標とし、具体的には、医師・看護師・臨床心理士・作業療法士・ケースワーカー・保健師が参加し、月2回のミーティングと、隔月で思春期患者の症例検討会を行っている。このような体制を通じて、各部門の連携の強化及び役割分担ができています。

以上、当センターでは、多様化している思春期・青年期の精神障害に対して、様々な部門が互いに連携しながら、チームとしての医療を行っていきける体制を維持している。そして、日々さらなる思春期医療の向上を目指している。

## 6 . 内科医療の現況

平成 20 年度は常勤医 1 名により内科診療を受け持っている。

内科では、入院及び外来通院中の精神患者が持つ内科的疾患の診療・検査・治療を中心業務とし、その他精神科医師からの内科以外の各種疾患に関する診療・治療にも出来る限り対応するようにしている。また、放射線科・検査科とも協力し、MRI・CT・脳波など近隣医療機関からの外注検査を請け負っている。

当センターを受診する患者は、ほとんどが精神疾患をともなっており、一般病院への通院、入院が困難な患者も多い。このため内科疾患に限らず、可能な限り当センター内での診療・治療が出来るように努力している。また、当センター内で対処できない者に対しては滋賀医科大学、成人病センター、大津赤十字病院などの近隣医療機関に転院をお願いし、対応可能となった時点で再度当センターへ転院してもらっている。

今後も内科疾患を初めとする諸疾患を合併する精神患者について、近隣医療機関との連携を密にし、診療を行っていく考えである。

## 7 . 薬剤科

平成20年度の院外処方せん発行枚数は前年より減少し、1日平均63.2枚となっている。平成20年4月から向精神薬の長期投与が可能になったことから、院内で調剤する処方せんの枚数は減少したが、処方件数・延べ日数は増加した。

### 薬剤科業務集計

		処方箋枚数			処方件数			延べ日数			院外 処方箋 枚数	薬剤管 理指導 件数	請求 薬品 件数
		外来	入院	合計	外来	入院	合計	外来	入院	合計			
19 年度	合計	5,147	14,617	19,764	15,376	16,981	32,357	195,408	115,564	310,972	17,740	99	260
	日平均	21.0	59.7	80.7	62.8	69.3	132.1	797.6	471.7	1,269.3	72.4	0.4	
20 年度	合計	4,760	9,697	14,457	14,155	18,600	32,755	210,383	138,116	348,499	15,489	44	233
	日平均	19.4	39.6	59.0	57.8	75.9	133.7	858.7	563.7	1,422.4	63.2	0.2	
4月	合計	447	750	1,197	1,322	1,345	2,667	19,852	12,177	32,029	1,516	2	19
	日平均	21.3	35.7	57.0	63.0	64.0	127.0	945.3	579.9	1525.2	72.2	0.1	
5月	合計	470	698	1,168	1,444	1,294	2,738	19,241	8,788	28,029	1,395	4	17
	日平均	23.5	34.9	58.4	72.2	64.7	136.9	962.1	439.4	1401.5	69.8	0.2	
6月	合計	443	849	1,292	1,283	1,585	2,868	18,317	7,562	25,879	1,261	4	24
	日平均	21.1	40.4	61.5	61.1	75.5	136.6	872.2	360.1	1232.3	60.0	0.2	
7月	合計	499	824	1,323	1,415	1,585	3,000	20,979	11,975	32,954	1,407	2	19
	日平均	22.7	37.5	60.1	64.3	72.0	136.4	953.6	544.3	1497.9	64.0	0.1	
8月	合計	399	762	1,161	1,137	1,437	2,574	17,538	10,527	28,065	1,272	3	18
	日平均	19.0	36.3	55.3	54.1	68.4	122.6	835.1	501.3	1336.4	60.6	0.1	
9月	合計	388	892	1,280	1,189	1,711	2,900	17,623	12,575	30,198	1,295	4	32
	日平均	19.4	44.6	64.0	59.5	85.6	145.0	881.2	628.8	1509.9	64.8	0.2	
10月	合計	384	988	1,372	1,162	1,474	2,636	16,544	13,183	29,727	1,475	4	24
	日平均	17.5	44.9	62.4	52.8	67.0	119.8	752.0	599.2	1351.2	67.0	0.2	
11月	合計	335	819	1,154	1,019	1,632	2,651	15,216	10,818	26,034	1,146	4	15
	日平均	18.6	45.5	64.1	56.6	90.7	147.3	845.3	601.0	1446.3	63.7	0.2	
12月	合計	345	708	1,053	1,033	1,357	2,390	17,799	12,437	30,236	1,234	7	22
	日平均	18.2	37.3	55.4	54.4	71.4	125.8	936.8	654.6	1591.4	64.9	0.4	
1月	合計	340	825	1,165	1,027	1,788	2,815	15,627	11,967	27,594	1,191	4	11
	日平均	17.9	43.4	61.3	54.1	94.1	148.2	822.5	629.8	1452.3	62.7	0.2	
2月	合計	342	756	1,098	1,027	1,555	2,582	15,364	12,212	27,576	1,081	2	17
	日平均	18.0	39.8	57.8	54.1	81.8	135.9	808.6	642.7	1451.4	56.9	0.1	
3月	合計	368	826	1,194	1,097	1,837	2,934	16,283	13,895	30,178	1,216	4	15
	日平均	17.5	39.3	56.9	52.2	87.5	139.7	775.4	661.7	1437.0	57.9	0.2	

## 8 . 放射線科

施設内検査だけでなく、開院時の目的であった他病院からの検査依頼も受け入れ、高額医療機器の運用を図っている。

常に最高の医療診断画像を提供できるように心掛け、患者さんが早期に十分な医療サービスを受けられるように努力している。

### 一般撮影検査件数

部位 / 月	19年度 合計	20年度 合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
頭部		3						2				1		
胸部	448	385	33	24	23	40	37	41	33	31	23	40	35	25
腹部	239	279	18	15	14	27	26	29	29	23	22	32	23	21
骨部	60	65	1	3	6	4	3	6	11	3	6	6	2	14
ポータブル	49	59	1	7		8	5	5	4	7	20			2
合計	796	791	53	49	43	79	71	83	77	64	71	79	60	62

### CT検査件数

部位 / 月	19年度 合計	20年度 合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
頭部	106	135	12	10	9	11	14	12	7	13	14	11	9	13
脊椎		9			2		1							6
胸部	65	90	6	6	9	6	4	5	8	8	11	7	9	11
腹部	55	86	4	6	13	2	1	7	7	7	5	7	12	19
合計	226	320	18	22	33	19	20	24	22	28	30	25	30	49

### MR検査件数

部位 / 月	19年度 合計	20年度 合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
頭部	226	240	13	16	21	22	21	29	19	17	10	33	18	21
脊椎	68	86	12	6	7	10	7	8	5	7	6	7	5	6
腹部		18	1	1	3	1	1	2	1	1	2	2	1	2
四肢	23	8			1				3			2		2
MRA 頭部	64	75	3	8	11	7	10	5	5	6	3	8	5	4
頸部	53	56	3	6	10	5	8	5	4	4	3	2	2	4
合計	434	483	32	37	53	45	47	49	37	35	24	54	31	39

## 9 . 検査科

平成 20 年度の検査総数は、124,951 件であった。前年度と比較すると 11.4%の増加率であった。検査別でみると、特に尿検査と生化学検査その他（外注検査項目）に各々27.2%、36.1%の増加がみられた。また、オーダリングが新規導入されて検査受付作業、報告処理がシステム化され、省力化された。検査報告時間も短縮された。

今後、さらに迅速に結果報告ができるよう、外注している検査項目(生化学検査)の院内実施を計画的に考慮していきたい。

### H20 年度 検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査総数	8,284	8,706	9,670	10,144	11,202	11,380	13,561	9,449	10,444	11,790	9,571	10,750	124,951
一般検査 合計	499	518	706	814	975	839	920	783	607	1,059	943	1,059	9,722
尿	497	502	691	809	969	829	900	771	597	1,034	937	1,041	9,577
糞便	1	11	5	4	6	6	14	10	6	18	3	10	94
その他	1	5	10	1	0	4	6	2	4	7	3	8	51
血液検査 合計	1,582	1,676	1,793	1,912	2,066	2,158	2,527	1,747	2,012	2,150	1,742	1,900	23,265
末梢血一般	1,408	1,513	1,591	1,678	1,827	1,914	2,295	1,548	1,786	1,931	1,547	1,717	20,755
血液像	106	101	110	141	152	150	142	122	133	158	123	123	1,561
その他	68	62	92	93	87	94	90	77	93	61	72	60	949
免疫血清 検査合計	215	161	285	260	316	254	239	188	189	296	245	263	2,911
梅毒・ 肝炎 ウイルス	102	78	119	70	122	120	85	62	74	118	103	97	1,150
その他	113	83	166	190	194	134	154	126	115	178	142	166	1,761
微生物検査	7	3	3	7	1	0	4	13	5	8	0	0	51
病理検査	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	1	0	6
生化学 検査合計	5,922	6,302	6,825	7,114	7,785	8,064	9,761	6,640	7,568	8,206	6,595	7,471	88,253
AUTO	5,472	5,776	6,126	6,450	7,051	7,288	8,813	6,030	6,853	7,546	6,000	6,712	80,117
薬物濃度	78	83	81	99	102	148	138	118	116	105	93	117	1,276
その他	372	443	618	565	632	628	812	492	599	555	502	642	6,860
生理機能 検査合計	59	46	57	37	59	65	110	77	63	68	45	57	743
心電図	44	39	43	28	49	57	102	60	46	62	41	49	620
脳波	8	5	7	6	5	7	7	3	4	3	3	6	64
その他	7	2	7	3	5	1	1	14	13	3	1	2	59
環境検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外注検査 (再掲)	370	382	607	554	576	547	735	439	542	478	421	570	6,221

## 10 . 栄養指導料

### 栄養管理実施加算の実施

入院患者ごとに、個々の栄養状態、健康状態等に着眼した栄養管理の策定を行い、その計画に基づいて栄養管理の実施および評価を行う。さらには栄養状態等の改善、回復につながることを目標に実施する。

### 食事内容の充実

食事は患者の楽しみとしての要素が大きいことから、栄養学的な充足だけでなく、季節ごとの材料や、行事食の取り入れ、選択メニューの実施等できるだけ献立に変化を持たせた食事内容になるよう心がけている。

### 栄養指導の充実

外来、入院患者で、栄養指導の必要な安定期にある患者の栄養指導を、医師の指示に基づき実施し、効果的な指導内容に向け研鑽する。

## 1 . 栄養指導状況

### (1) 個別指導 (件数)

区 分	外来患者	入院患者	合計
糖 尿 病	13	7	20
摂 食 障 害	74	8	82
脂 質 異 常 症	12	2	14
肥 満 症	25	3	28
肝 障 害	-	38	38
そ の 他	3	-	3
合 計	127	58	185

### (2) 集団指導

項 目	回数	参加者数(人)	備 考
アルコール講座	6	67	4/11、6/6、8/1、10/3、11/28、1/30

## 2. 給食状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	20年度 合計	19年度 合計	
一般食	常食	5,190	5,070	4,795	4,835	5,023	5,547	5,849	5,340	4,890	5,193	5,351	5,542	62,625	62,580	
	軟食	723	710	656	906	784	826	822	622	633	608	442	387	8,119	8,046	
	流動食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	小計	5,913	5,780	5,451	5,741	5,807	6,373	6,671	5,962	5,523	5,801	5,793	5,929	70,744	70,627	
特別治療食	E	糖尿病	228	329	208	93	132	260	183	192	96	293	335	399	2,748	7,268
		摂食障害	132		18	137	74		31	38				46	476	
		肝疾患	75	50		90	69	14							298	
		脂質異常症	38	58	70	102	137	156	93						654	
		肥満	70	66	62										198	
	E	糖尿病・高血圧	51												51	
	S															
	P	肝臓・腎臓	19							32	93	93	84	78	399	
濃	摂食障害					5		32						37		
	小計	613	503	358	422	417	430	339	262	189	386	419	523	4,861		
合計		6,526	6,283	5,809	6,163	6,224	6,803	7,010	6,224	5,712	6,187	6,212	6,452	75,605	77,895	
内訳	加算食	484	503	340	285	338	430	280	231	189	386	419	464	4,349	4,526	
	非加算食	6,042	5,780	5,469	5,878	5,886	6,373	6,730	5,993	5,523	5,801	5,793	5,988	71,256	73,369	
デイケア		272	309	357	364	322	318	352	277	326	314	349	338	3,898	4,821	

### 【特別治療食】

E……エネルギーコントロール食    E - S……エネルギー塩分コントロール食    P……たんぱくコントロール食    濃……濃厚流動食

. デ イ ケ ア 科  
( 診 療 部 門 )

## デイケア科の業務

デイケア科の業務は、主に、精神科デイ・ケア、県下のデイ・ケア施設交流会の開催、技術協力である。

については、精神科医療機関に通院中で社会復帰・社会参加を目指す人たちに対して、通院医療として「精神科デイ・ケア」(集団活動を中心としたプログラム活動を通じた支援の実施している。現在の利用者は、20～30才代の比較的若い方が多く、就労等に向けてとりくむいわゆる移行型のデイケアとなっている。家族支援としても、家族懇談会、家族ミーティングを開催し、学習や交流の場を提供している。

については、これまで、事例検討を通して意見交換、自己研鑽の場として実施してきたが、今年度は、今後のあり方を検討する機会となり、参加の関係機関の職員による運営委員会が発足した。

については、現在は主に作業療法の学生の実習を積極的に受け入れている。

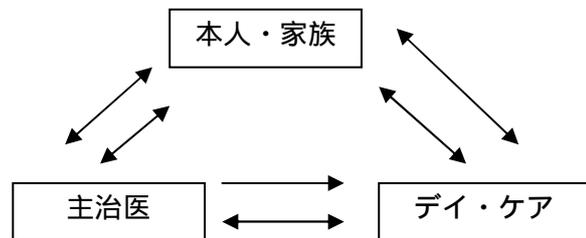
## 精神科デイ・ケア

### 1. 当センターデイ・ケア通所からその後の援助の流れについて

図1に示すとおりである。

図1

デイ・ケア利用について相談  
主治医意見書の提出  
インテーク面接の連絡  
通院  
通所開始時の流れ



<主治医からの紹介> <初回面接> <体験通所> <正式通所>  
(意見書・申請書の提出) (誓約書の提出) (馴染む期間約1～2ヶ月)(具体的な課題設定)  
情報交換を含め連携を取り、社会復帰援助を進めていく  
通所開始後も、引き続き主治医の治療は継続していただき、主治医と協力して社会復帰援助を進めている。デイ・ケアでの援助が進み、次の移行先を考える際には、必要に応じ地域関係諸機関と連携をとっている。

## 2. デイ・ケアの実施状況について

### (1) 通所者状況

#### 疾病分類

	年 齢 性 別	10代		20代		30代		40代		50代		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
F0	症状性を含む器質性精神障害			2					2	2		4
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害			1								1
F2	統合失調症・統合失調症型障害および妄想性障害	11	13	122 (3)	71 (3)	48 (3)	27 (3)	11 (1)	3		2	308 (13)
F3	気 分 障 害		3	12	14 (1)	15	8 (1)	4 (1)	1 (1)			57 (4)
F4	神経症性障害ストレス関連障害および身体表現性障害	6	4	23 (1)	15 (2)	5 (1)		2				55 (4)
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		5		5		5					15
F6	成人の人格および行動の障害	2	4	8	12	2			1			29
F7	精 神 遅 滞	1	1	2	3			1				8
F8	心 理 的 発 達 の 障 害	1	1	5	2	2 (1)						11 (1)
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害											0
G	て ん か ん			3								3
	計	21	31	178 (4)	122 (6)	72 (5)	40 (4)	18 (2)	6 (1)	1	2	491 (22)

H4.10～H21.3

( )内は平成20年度登録

保健所管内別登録者数

センター名	累積登録
大津保健所	209 (9)
草津保健所	146 (8)
水口保健所	49 (1)
八日市保健所	40 (1)
彦根保健所	28 (2)
長浜保健所	11 (0)
今津保健所	4 (1)
県外	4 (0)
合計	491 (22)

H4.10～H21.3

( )内は、平成20年度登録者数

紹介病院別初回登録数

	総合病院	単科病院	クリニック	当センター	計
県内	72 (2)	39 (1)	63 (6)	295 (12)	469 (21)
県外	10 (1)	9 (0)	3 (0)		22 (1)
合計	82 (3)	48 (1)	66 (6)	295 (12)	491 (22)

H4.10～H21.3

( )内は、平成20年度登録者数

(2) 実施状況

	H20 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H21 1月	2月	3月	合計
開催回数	15	16	17	17	17	16	17	14	15	15	16	15	190
通所者実人数	37	42	42	45	40	36	41	36	40	41	41	44	-
通所者延数	323	352	391	400	351	340	374	328	336	335	380	376	4286
半日(外数)	60	74	79	88	65	66	84	63	71	67	62	69	848

(3) 退所者状況

退所者の転帰別人数（平成20年度中の推移：再登録者も含む）

転 帰	人 数
就 労	72 (2)
保 護 的 就 労	28 (2)
作 業 所	41 (1)
復 職	21 (1)
進 学 ・ 復 学	23 (0)
家 庭 内 復 帰	15 (2)
中 断	171 (6)
体 験 通 所 の み	86 (4)
そ の 他	0 (0)
合 計	457 (18)

中断内訳

治療方針変更	81 (1)
悪 化	36 (1)
入 院	40 (4)
死 亡	2 (0)
そ の 他	12 (0)
合 計	171 (6)

H4.10～H21.3 ( )内は、平成20年度登録者数

### 3. プログラム・個別援助の状況

(1) 週間プログラム

プログラム名	開催回数(回)	延参加者数(名)
全体ミーティング	43	978
音 楽 療 法	43	315
手 工 芸	91	1622
絵 画	50	325
書 道	50	638
テ ニ ス	71	583
ソ フ ト ボ ー ル	43	602
バ レ ー ボ ー ル	51	759
リ ズ ム 体 操	45	554
レ ク リ エ ー シ ョ ン	24	212
自 主 活 動	48	1276
料 理	45	330
実 行 委 員 会	20	94

(2) プログラムの概要

プログラム名	スタッフ数	内容及び活動概要を
全体ミーティング	部長 1 職員 5	毎週月曜日の午前、週の始まりを意識づける意味も含め、全通所者とスタッフが集い、新しいメンバーの紹介、デイ・ケアの運営などの話し合いを行っている。後半の時間は、個別面接または勉強会（心理教育）を実施。
音楽療法	専任講師 1 職員 2	音楽による表現活動を通して、体の感覚や動きに注意を向けて、自分と他者の関係を意識したりすることをめざしている。
料理	専任講師 1 職員 2	料理を作る体験を通して、自己の特性や情緒に気付けるプログラムを目指している。話し合い 実践という構造になっている。互いの力を分かり、協調して作業する場ともなっている。
自主活動	部長 1 職員 5	構造化されたほかのプログラムとは違い、メンバー各自が主体的に過ごせることを目的としている。どのように過ごしても、自らの状態を受け入れ、責任が持てるということが、日々の生活にもつながると考えている。
手工芸	部長 1 職員 5	ものを作る過程を通して、今、自身の持っている力、足りない力、必要な力を具体的な場面で体験し、それを受け入れる場として考えている。作品完成後には「技術としてわかったこと」「気持ちとしてわかったこと」「今後の課題」を振り返る機会を設けている。
ス ポ ー ツ (バレーボール)	専任講師 1 職員 2	バレーボールの活動を通して、自分の身体の動きをわかるということに加え、相手の身体の動きをわかる、ルールをわかることさらに集団場面での協同を経験することを目標としている。
ス ポ ー ツ (ソフトボール)	専任講師 1 部長 1 職員 3	ソフトボールの活動を通して、状況に応じて判断し行動することを意識したり、自分の身体状況を配慮してけがをしないよう取り組んだりすることを目標としている。
書道	専任講師 1 職員 2	書道を通して、学ぶ際に基本となる「教わる」「模倣する」という行動を経験してもらうことを中心にしている。
リズム体操	専任講師 1 職員 2	リズムカルな音楽にあわせてダンスやストレッチを行い、運動不足の解消と、自分の身体の動きを理解することを目的に取り組み、継続して参加することで少しずつ体力や柔軟性を獲得していくことを目的としている。

テニス	職員 3名	テニスの技術を身に付けるために必要な動きと実際の自分の動きを摺り合わせていく過程を通して、学習や事実の受け止めに重視したプログラムである。その過程の中で起こってくる上手いかなさや、わからなさやどう向き合い付き合っていくかも同時に大切にしている。
レクリエーション	職員 2名	時期や季節ごとに活動をメンバー、スタッフとともに決定し、その活動を通して交流を促進し、お互いに援助しあう関係を体験できる場としていく。また活動のプロセスの重要性や活動を進める上でのポイントに気づき、主体性が発揮できるプログラムを目指している。
絵画	専任講師 1 職員 2	講師の指導により、デッサン、クロッキーの基本課題においては、学習の手順が評価でき、水彩画など活動そのものの自由度が高い課題では、情緒的反応においても各自の特徴が現れやすく、今ここでの体験を受け入れる練習になっている。
実行委員会	職員 1名	花火大会とクリスマス会の企画・運営を行っている。実行委員会は回を重ねるごとにグループとして機能し、様々な力動が見え隠れするので、集団という構造がより治療的な場となっている。

### (3) 特別プログラム

花火大会およびクリスマス会は、利用者による実行委員会を組織して開催した。

平成 20 年 8 月	花火大会 (所内行事)	31 名
平成 20 年 11 月	県内デイケアスポーツ交流会 (所外活動)	15 名
平成 20 年 11 月	ナガシマリゾート (所外活動)	23 名
平成 20 年 12 月	クリスマス会 (所内行事)	28 名
平成 21 年 3 月	インスタントラーメン記念館、箕面ホテル (所外活動)	25 名

#### 4. 家族援助の状況

##### (1) 家族懇談会（家族の学習の場として開催）

	年 月	内 容	参加者数
1回	平成20年 7月	～メンバーの特性を理解していただくために～ 「医師と気軽に語ろう」	12名
2回	9月	「学習・記憶について」	9名
3回	11月	「情緒・認知について」	13名
4回	平成21年 1月	「生活について」 (～の話題提供はデイケアスタッフによる)	11名
5回	3月	「利用できる社会資源について」 講師:地域生活支援センター風 黒木 稔氏 働き・暮らし応援センターりらく 河尻朋和氏	18名

##### (2) 家族ミーティング（家族の語らいの場として開催）

平成20年5月～平成21年2月 計10回開催 平均参加者8.2名

### ・ デイ・ケア関連機関交流会

第1回 平成20年 12月6日(土) (会場:当センター)

内 容: デイケア交流会の今後のあり方について意見交換

参加者: 滋賀県内精神科デイ・ケア実施施設職員 19名

第2回 平成21年 3月21日(土) (会場:当センター)

テーマ: 「デイケアからの移行支援 ～デイケアの役割を問う～」

講 師: 地域生活支援センター 風 黒木 稔 氏

働き・暮らし応援センターりらく 河尻朋和 氏

事例提供: 湖南クリニック、八幡青樹会病院デイケアスタッフ

参加者: 滋賀県内精神科デイ・ケア実施施設職員 22名

## ．技術協力

作業療法学生の臨床実習・見学の受け入れ状況について

### 1．臨床実習

滋賀医療技術専門学校	平成 20 年 6 月 9 日～ 8 月 2 日	1 名
京都大学医学部保健学科	平成 20 年 6 月 2 日～ 8 月 1 日	1 名
	平成 20 年 10 月 6 日～12 月 5 日	1 名

### 2．見学実習

川崎リハビリテーション学院	平成 20 年 8 月 21 日	1 名
佛教大学医療技術学部	平成 21 年 2 月 9 日～2 月 12 日	1 名

## ．今後の課題

### 業務 （精神科デイ・ケア）

利用者の疾患の多様化に伴い、一人一人の状態や回復段階、ニーズも多様化しており、支援サービスの在り方や方法を、プログラム・個別援助を通して常に模索し続けている。スタッフ間で、それらを具体的に相互に検討していく中で、＜支援の在り方＞、＜精神科リハビリテーション＞を包括的に捉えていくことが課題である。

### 業務 （デイ・ケア関連機関交流会）

この事業に関しては、今後の方向性を検討した結果、次年度からは、関係機関職員による運営委員会を組織して実施していくことになった。交流の場としての活性化をめざしての動きとなっている。

### 業務 （技術協力）

作業療法の学生（主に滋賀県出身者）の実習を積極的に受け入れている。年 2 期は臨床実習を 2 か月にわたり実施。卒業後、精神科で働く学生も少なくない。

. 看 護 部 門

## 1. 看護部の概要

### (1) 看護部体制について

政策医療の推進が叫ばれる中、社会の動きの中で医療の担い手として、県立病院に求められる役割に応える必要性を強く感じている。その政策医療の一つとして精神科病院における長期入院患者に対する退院促進事業が始まり、当センターでは今年度から地域生活支援室が組織として立ち上げられた。今後、入院期間が1年以上になっている患者への退院促進を、さらに具体的に取り組む事業として進められることになる。

今年度、看護部の目標は引き続きバランススコアカードをもとに次のように掲げた。

#### 「看護専門職としての自律を問い直し、変革の時代にチャレンジしよう」

戦略目標としては、顧客の視点：安全・安心の継続看護の提供 財務の視点：コスト意識の向上をはかり、病床の有効利用への貢献 内部プロセスの視点：医療チームの一員として、看護の役割を確実に果たす 学習と成長の視点：目標達成に向けての自己啓発の促進

以上、安全・安心なケアの提供、業務の効率化を中心に戦略を図っていく事となった。病棟、外来、さらに一人ひとりの職員についても、看護部の活動目標に基づき個人の目標にチャレンジをしている。

顧客の視点である継続看護の提供として重要な位置を占めるものとして、外来を中心に推し進めている訪問看護は、9年目を迎え年間訪問看護事例数は191件とほぼ昨年と同様の件数となっており、外来での訪問看護としての土台が安定してきている事を示している。

また今年度より、政策医療として長期入院患者の退院促進を推し進めるにあたり、新たに地域生活支援室が設けられ、看護職員も多職種の一員として協働が求められる事となった。引き続き地域との連携を深め、精神障がいをもつ患者の社会生活を支えていく事になる。

診療報酬上、看護配置基準として15:1看護 6:1看護補助をとっている。引き続き財務の視点を考えると共に、質の高い看護の提供を考慮した看護体制、各看護単位に対する看護職員の配置状況等十分考慮していきたい。

### (2) 看護職員の動向について

平成20年度の看護職員の平均年齢は、37.5歳である。今年度も、県立3病院における人事交流がなされ、3名の職員が対象となった。引き続き、組織の活性化をはかるため、さらには教育的視点から、人事交流は必要な方策として実施される事が望まれる。

### ( 3 ) 看護職員の継続教育について

看護実践能力の向上を図るための教育として、昨年度から引き続き自己啓発を重視し、職員一人一人がチャレンジシートを用いて年間の目標立案と実施・評価を行っている。更にキャリア開発（人材育成）に重きを置き教育目標を掲げ、現任教育委員会を中心に研修会を実施している。現在看護職員の半数以上が主任看護師で占めており、現任教育委員による主任看護師対象の研修会は欠かせないものになっている。

院内外の研修会・学会への参加も出来るだけ希望に添う支援を行っており、年間 60 を超える研修、学会等に参加している。今後も積極的な自己啓発を推し進めたい。

### ( 4 ) 看護学生の臨地実習の受け入れ状況について

平成 20 年度における看護大学 2 校・専門学校 1 過程の精神臨地実習施設として、今年度延べ 1526 名の看護学生を受け入れた。夏期休暇期間には、県立大学から人間看護統合実習も 3 年目となり、看護のあり方を追求する集大成としての実習が展開されている。

看護学生の臨地実習を受け入れるにあたっては、各学校との連携を図りながら、出来るだけ充実した臨地実習となるよう、引き続き臨床指導者を中心に看護職員の意識は高く維持していきたい。

## 2. 患者状況 他統計

### 入院患者状況

2008年4月～2009年3月 (単位:人)

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
1 病棟	入院	10	8	12	7	11	11	8	9	11	15	9	12	123	10.3
	退院	9	13	11	9	7	5	9	15	12	10	10	17	127	10.6
	転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	転出	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2
	外泊	28	13	8	4	6	14	11	5	6	11	9	6	121	10.1
	外泊	119	98	43	48	60	49	76	74	81	87	83	60	878	73.2
	月末在院	42	37	38	36	40	46	44	38	37	42	41	36	477	39.8
2 病棟	入院	13	8	13	11	20	17	13	9	7	18	8	14	151	12.6
	退院	8	11	17	10	15	16	17	10	7	8	14	14	147	12.3
	転入	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2
	転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	外泊	7	10	6	16	8	15	6	7	8	4	7	7	101	8.4
	外泊	69	128	96	88	138	106	115	80	114	144	115	144	1,337	111.4
	月末在院	38	35	31	32	37	38	35	34	34	44	38	38	434	36.2
合 計	入院	23	16	25	18	31	28	21	18	18	33	17	26	274	22.8
	退院	17	24	28	19	22	21	26	25	19	18	24	31	274	22.8
	転入	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2
	転出	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2
	外泊	35	23	14	20	14	29	17	12	14	15	16	13	222	18.5
	外泊	188	226	139	136	198	155	191	154	195	231	198	204	2,215	184.6
	月末在院	80	72	69	68	77	84	79	72	71	86	79	74	911	75.9

小数点第2位以下は四捨五入

### 病床利用状況

2008年4月～2009年3月 (単位:人)

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1 病棟	在院延べ患者数 (人)	1,254	1,257	1,116	1,193	1,174	1,291	1,345	1,213	1,133	1,230	1,164	1,141	14,511	1,209.3
	病床利用率(%)	83.6	81.1	74.4	77.0	75.7	86.1	86.8	80.9	73.1	79.4	83.1	73.6	/	79.5
2 病棟	在院延べ患者数 (人)	1,162	1,118	998	1,019	1,136	1,184	1,220	1,078	1,042	1,129	1,128	1,268	13,482	1,123.5
	病床利用率(%)	77.5	72.1	66.5	65.7	73.3	78.9	78.7	71.9	67.2	72.8	80.6	81.8	/	73.9
合 計	在院延べ患者数 (人)	2,416	2,375	2,114	2,212	2,310	2,475	2,565	2,291	2,175	2,359	2,292	2,409	27,993	2,332.8
	病床利用率(%)	80.5	76.6	70.5	71.4	74.5	82.5	82.7	76.4	70.2	76.1	81.9	77.7	/	76.7

### 個室利用状況

2008年4月～2009年3月 (単位:人)

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1 病棟 12 床	個室延べ利用数 (人)	350	372	359	372	372	360	368	359	354	355	323	368	4,312	359.33
	利用率(%)	97.22	100.0	99.72	100.0	100.0	100.0	98.92	99.72	95.16	95.43	96.13	98.92	/	98.45
2 病棟 12 床	個室延べ利用数 (人)	337	352	358	354	363	360	364	326	366	341	327	349	4,197	349.75
	利用率(%)	93.61	94.62	99.44	95.16	97.58	100.0	97.85	90.56	98.39	91.67	97.32	93.82	/	95.82
合 計 24 床	個室延べ利用数 (人)	687	724	717	726	735	720	732	685	720	696	650	717	8,509	709.08
	利用率(%)	95.42	97.31	99.58	97.58	98.79	100.0	98.39	95.14	96.77	93.55	96.73	96.37	/	97.13

保護室利用状況

2008年4月～2009年3月 (単位:人)

病棟		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1病棟 (2床)	保護室延べ利用数 (人)	58	62	59	53	62	60	51	47	53	27	24	23	579	48.3
	利用率(%)	96.7	100.0	98.3	85.5	100.0	100.0	82.3	78.3	85.5	43.5	42.9	37.1		79.3
2病棟 (2床)	保護室延べ利用数 (人)	60	62	60	60	60	60	62	60	62	62	56	51	715	59.6
	利用率(%)	100.0	100.0	100.0	96.8	96.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	82.3		97.9
合計 (4床)	保護室延べ利用数 (人)	118	124	119	113	122	120	113	107	115	89	80	74	1,294	107.8
	利用率(%)	98.3	100.0	99.2	91.1	98.4	100.0	91.1	89.2	92.7	71.8	71.4	59.7		88.6

訪問看護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
訪問看護	18	23	15	15	20	13	12	15	16	17	14	13	191	15.9

小数点第2位以下は四捨五入

看護度分布

2008年4月～2009年3月までの平均分布(単位:%)

病棟	看護度 自由度	A	B	C	合計
1病棟(50床)		9.0	0.0	0.0	9.0
		21.3	1.4	0.0	22.7
		12.1	16.0	8.6	36.8
		13.2	3.5	14.9	31.6
	計	55.5	20.9	23.6	100.0
2病棟(50床)		16.9	0.0	0.0	16.9
		13.8	3.2	0.0	17.0
		6.2	13.9	12.7	32.8
		1.5	18.8	12.9	33.2
	計	38.4	36.0	25.7	100.0
合計		12.8	0.0	0.0	12.8
		17.7	2.2	0.0	19.9
		9.3	15.0	10.6	34.9
		7.5	10.8	14.0	32.4
	計	47.3	28.1	24.6	100.0

小数点第2位以下は四捨五入

看護度

(単位:人)

	看護度	自由度
		環境の整理・・・ベッドの整理等 身の回りの世話・・・食事・排泄物の処理 更衣・身体の清潔 体位交換・朝夕の洗面
A	絶えず観察が必要 ・重症患者 ・医療、看護処置が困難な患者 ・意識障害の高度な患者 ・精神障害の高度な患者	常に寝たまま ・環境の整理 ・身の回りの世話 看護職員が行う
		ベッドの上で身体が起こせる ・環境の整理 ・身の回りの世話 看護職員が介助、または 行う
B	1～2時間毎に観察が必要 ・重傷者に準じ要注意の患者 ・症状は安定しているが医療・看護処置を多く 必要とする患者 ・精神障害の中程度の患者	室内歩行ができる ・環境の整理 患者と看護職員が共に行う
		・身の回りの世話 患者自身が行う 又は介助する
C	継続した観察は特に必要としない ・看護観察の程度A・B以外の患者	日常生活にほとんど不自由がない ・環境の整理 ・身の回りの世話 患者自身が行う

## 事 故 状 況

(2008年4月～2009年3月)

自傷行為	無断離院	暴力行為(对患者)	暴力行為(对看護者)	器物破損	転倒・転落	その他
25件	5件	6件	6件	4件	103件	195件

(その他:自傷行為、バルカテテル自己抜去、ルートトラブル、針刺し、etc.)

### < 看護職員の状況 >

採用・退職・長期休暇(産前産後育休取得・病気休暇等)状況 2008年4月～2009年3月 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
採 用	2												2
転 入													0
転 出													0
退 職			1									5	6
産前・産後・育休	4	4	3	3	2	2	2	2	2	4	4	4	
育 児 時 間													
病 気 休 暇						1	1						
長 期 休 暇	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	
夜 勤 免 除	2	2	2	3	3	5	5	5	5	3	3	2	

夜勤免除者には妊娠による夜勤免除申請者も含む

### 年齢構成表

年 齢 ( 歳 )	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	合 計
人 数 ( 人 )	2	12	8	17	7	9	7	62
構 成 比 ( % )	3.2	19.4	12.9	27.4	11.3	14.5	11.3	100.0

2009年3月31日現在(平均年齢37.5歳)

### 在職年数

年 数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	
人 数 ( 人 )	5	5	3	4	1	5	5	2	2	1	2	4	
年 数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	合計
人 数 ( 人 )	4	7	0	2	10								62

2009年3月31日現在(1989年 開設準備室～)

### 【所内勉強会活動】

年 月 日	主 題 ・ 内 容	対 象 者	担 当 部 ・ 講 師 等
平成20年7月3日	医療事故とその対応	全職員	リスクマネジメント部会
平成20年10月16日	新型インフルエンザについて(1回目)	全職員	院内感染防止委員会
平成20年11月5日	クレーム対応を考える	全職員	看護部現任教育委員会
平成20年12月10日	新型インフルエンザについて(2回目)	全職員	院内感染防止委員会
平成21年2月26日	実践発表会	全職員	看護部現任教育委員会

### 【研究活動・学術講演】

平成20年度 関西アルコール関連問題学会 平成20年11月1日・2日 和歌山県 話題提供:「アルコールクリニカルパスについて」      シンポジスト 安田浩二
--

## . 地域生活支援室

## 地域生活支援室

地域生活支援室は、今年度より、新たな部署として設置され、医師（診療局長と室長を兼務）1名、ケースワーカー2名・臨床心理士1名・作業療法士1名・看護師1名・精神保健福祉士（嘱託）1名の多職種のスタッフが配属された。

このため、従来の生活療法科の業務に加え、長期入院患者の退院促進や地域生活安定のための支援をチームで取り組むこととした。

- （1）経済的・心理的・社会的及び家族関係等の問題解決を援助し、患者が主体的に受療・療養できるように援助する。
- （2）生活障害の軽減に向けて援助する。
- （3）関係機関との連携により、社会復帰及び社会参加を促進する。
- （4）地域生活支援室が中心となり、多職種のチームで長期入院患者の退院促進や地域生活安定を図る。

### 1．ケースワーカー業務

病気から派生する様々な社会的ハンディキャップを軽減するため、面接相談、電話相談、訪問、同行等の方法により患者や家族に対し援助を行っている。年金・生活保護等の経済的問題や社会復帰施設の利用に関する調整など、社会資源の利用に関する相談・援助を中心に援助内容は多岐に渡る。

援助にあたっては医師、看護師、他のコメディカルスタッフと連携しつつ、患者の人権擁護と社会福祉的視点を意識し、問題にアプローチしている。

また、患者の生活を総合的・側面的に支援するために、患者が生活する地域の関係機関と密接に連携する必要があることから、県地域振興局、市町村、社会復帰施設、職業安定所等との連絡調整にあっている。

その他、「アルコール講座」「アルコール家族教室」「統合失調症圏家族教室」「統合失調症圏本人教室」「入院生活技能訓練療法」に参画したほか、看護師と協働で「精神科訪問看護指導」を行っている。

### 2．臨床心理業務

臨床心理業務では、主に、（1）心理検査、（2）個人心理面接、（3）入院集団精神療法、などを中心に活動してきている。

#### （1）心理検査に関して

外来・病棟ともに、心理検査件数は前年度と同程度であり、1ヶ月に16件前後の検査を行った。心理検査は、主治医の判断のもとで依頼されるため、件数についてのコントロールは、担当者である臨床心理技術者自身にはできない。ただ臨床像だけでは見えてこない心理特性の一面をかいま見ることのできる心理検査は治療方針を検討する上で大変有効な

手段の一つであると考えているので、今後も積極的にその有用性をアピールしていきたい。

心理検査結果の患者本人へのフィードバックについては、検査施行時に「結果を聞きたいか否か」を本人に確認し、希望があった場合のみ、結果の説明を行っている。またテストによっては、「本人返し用所見」を作成して手渡すという方法を定着させている。

#### (2) 個人心理面接について

今年度は、外来・病棟合わせて、1ヶ月に延べ13人前後の心理面接を行った。内容的には主に、神経症者・うつ病者に対する個人心理療法を中心としている。医学モデルという枠にとらわれることなく、1人1人異なる「こころのあり方」に対して丁寧に触れていける面接を心がけている。

#### (3) 入院集団精神療法

1病棟アルコール・リハビリテーション・プログラム(ARP)の一つである病棟ミーティングとしての「入院集団精神療法」と、2病棟における「入院生活技能訓練」に、医師・看護師・作業療法士と共に参加・運営している。

2病棟では、安心して自己表現をするということを促進する目的で、「入院集団精神療法」を行った。今年度は2病棟で、新しくアートセラピーのグループも、作業療法士・看護師と共にレクリエーションの一部として行った。

今後は、患者層の推移に従い、臨機応変にプログラムの内容を変更することが、必要になってくると思われる。

### 3. 作業療法業務

内容は前年度と同様、

- (1) 各病棟における「入院生活技能訓練療法」
  - (2) 個別作業療法
  - (3) 身体的作業療法
  - (4) 職業前評価
  - (5) 各病棟レクリエーションへの参加
- であった。詳細については以下のとおりである。

#### (1) 各病棟における「入院生活技能訓練療法」に関して

1病棟では、3つのプログラムを実施した。ARP内では、革細工を用いたグループ援助、一般患者へは、簡単な手工芸を中心としたプログラム、また、1年以上の長期入院患者を対象とした園芸プログラムを実施した。

2病棟では、多くの方が楽しめるようなレクリエーション的なプログラムを実施した。

#### (2) 個別作業療法に関して

集団に属することの難しい方や種々の事情により入院が長期化している方に対し、退院支援や興味・行動の幅を広げることを目的として、個々に援助を行った。

#### (3) 身体的作業療法に関して

医師からの処方にもとづき、身体疾患を合併している患者に対しての身体的リハビリテーションプログラムの作成と、機能訓練・生活上の指導等を行った。

#### (4) 職業前評価に関して

医師からの処方にもとづき、職業前評価を実施した。

#### (5) 各病棟レクリエーションへの参加に関して

各病棟の看護師主催の定例のレクリエーションプログラムに例年どおり参加した。また主治医からのオーダーがなくても、OTRから声をかけて創作活動やスポーツを通して関わった場合、その人数を業務統計上レクリエーションとしてカウントしている。

### 4. 看護師業務

今年度より新たに専従の看護師として配属され、地域生活支援室として以下の取り組みから始動したところである。

各病棟との連携：随時、各病棟における入院患者の情報収集。病棟看護師の退院支援に関する相談に助言を行うなどのサポートを実施。また、長期入院患者の多職種チームによるカンファレンスの調整と開催。

外来との連携：入院前、退院後の患者の情報収集。また、患者の地域での生活安定のため、外来看護師と協働あるいは分担して訪問看護の実施。

全体として：多職種と協働してセンター内の退院促進に向けての取り組みを企画・運営。また、県の退院促進支援事業やセンター内での退院支援のあり方について等研修会の企画・実施。

今後、多職種との協働の業務を通じて地域生活支援室における看護師業務の構築と充実を図る必要がある。

### 5. 心理教育プログラム

医局・看護部（各病棟・外来）と協力し、以下のプログラムを実施した。

#### (1) 統合失調症圏家族教室

5回1クールで、年1クール実施している。家族のしんどさが素直に語られ、病気についての知識を提供する場合は、家族・スタッフ間で概ね好評であった。

また、家族教室を終了された方の交流の場として年2回交流会を実施している。家族が情報交換でき、率直に語れる場として今後も継続していきたい。

#### (2) 統合失調症圏本人教室

4回1クールで、年1クール実施している。心理教育・家族教室ネットワーク研究集会で

報告をした。今後は、病院の機能の変化にあわせた形態の変化を検討する予定である。

( 3 ) アルコール家族ミーティング

月 1 回開催している。様々な状況下にあるメンバーが素直に意見を出しあう中で、自助機能を果たす事の出来るグループとなっている。

## 6 . 退院促進に向けての取り組み

( 1 ) 長期入院患者をリストアップして退院支援が必要な人を検討

( 2 ) 多職種チームでケース検討会の実施

( 3 ) 園芸クラブの活動 ( 野菜や花作りの体験、できた野菜で調理体験 )

( 4 ) 外出プログラムの実施 ( 公共交通機関の利用、外食や買い物の体験 )

( 5 ) 新年交流会の開催 ( 外来患者と入院患者の交流、地域生活の情報交換 )

( 6 ) 退院促進支援事業についての勉強会の企画・開催

( 7 ) 退院促進関連会議や研修会への参加

平成20年度地域生活支援室業務統計

区 分		H16	H17	H18	H19	月平均	対前年比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
外 来	個 別 援 助	面 接	1,341	1,394	1,138	912	76.00	101.97	88	83	70	95	89	82	80	62	71	84	61	65	930	77.50
		電 話	1,447	1,114	1,017	591	49.25	52.96	30	23	33	22	22	25	29	25	34	27	22	21	313	26.08
		訪 問	82	152	83	81	6.75	117.28	14	13	5	11	10	8	7	5	3	7	3	9	95	7.92
		その他	2,359	2,359	1,896	892	74.33	3.25	3	3	0	2	2	1	4	1	1	9	0	3	29	2.42
	計		5,229	5,019	4,134	2,476	206.33	55.21	135	122	108	130	123	116	120	93	109	127	86	98	1,367	113.92
	集 団 援 助	A R P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		集団精	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	14	1.17
		AI家族	89	124	107	92	7.67	85.87	5	6	5	8	4	3	5	11	2	5	17	8	79	6.58
		S 圏	50	112	33	63	5.25	95.24	0	0	9	0	0	14	13	7	17	0	0	0	60	5.00
	計		139	236	159	155	12.92	98.71	5	6	14	8	4	17	18	32	19	5	17	8	153	12.75
	心 理 検 査	人 格	26	15	21	41	3.42	19.51	2	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	8	0.67
		知 能	14	10	14	14	1.17	57.14	0	0	1	0	2	1	0	0	2	0	1	1	8	0.67
		その他	13	11	7	13	1.08	15.38	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.17
		面 接	189	105	111	170	14.17	107.65	18	20	14	18	12	13	19	13	17	15	12	12	183	15.25
計		242	141	153	238	19.83	84.45	21	22	15	20	14	14	19	13	22	15	13	13	201	16.75	
作 業	身 体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	個 別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加ファイン		--	--	--	--	--	--	53	45	35	18	8	7	9	9	5	10	11	8	218	18.17	
地 域 連 携		--	--	--	--	--	--	64	65	63	87	89	79	93	78	70	90	62	62	902	75.17	
外来合計		5,610	5,396	4,446	2,869	239.08	99.02	278	260	235	263	238	233	259	225	225	247	189	189	2,841	236.75	

区分		H16	H17	H18	H19	月平均	対前年比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
病棟	個別援助	面接	1,897	2,546	1,473	834	69.50	75.18	71	66	64	46	40	19	51	40	42	57	75	56	627	52.25
		電話	1,183	1,178	823	334	27.83	32.04	12	8	11	14	2	3	4	9	15	11	9	9	107	8.92
		訪問	35	178	7	19	1.58	105.26	0	4	1	0	0	1	1	0	9	1	2	1	20	1.67
		その他	2,267	2,666	2,283	953	79.42	10.81	2	6	13	6	9	11	10	13	2	17	6	8	103	8.58
	計		5,382	6,568	4,586	2,140	178.33	40.05	85	84	89	66	51	34	66	62	68	86	92	74	857	71.42
	集団援助	ARP	0	40	15	13	1.08	192.31	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	11	8	25	2.08
		集団精	349	385	302	302	25.17	50.00	16	19	7	8	2	5	14	22	22	15	15	6	151	12.58
		SST	944	1,346	850	827	68.92	128.05	57	81	80	118	81	109	109	108	81	79	75	81	1,059	88.25
		レク	207	29	569	205	17.08	127.32	44	18	22	21	3	28	7	22	38	14	25	19	261	21.75
	計		1,500	1,800	1,736	1,347	112.25	111.06	117	118	109	147	86	142	136	152	141	108	126	114	1,496	124.67
	心理検査	人格	91	76	77	72	6.00	102.78	3	6	9	3	3	7	8	9	13	5	5	3	74	6.17
		知能	20	22	18	9	0.75	133.33	1	0	1	3	0	0	1	1	1	2	0	2	12	1.00
		その他	72	60	61	63	5.25	82.54	4	6	2	3	2	3	8	6	5	3	3	7	52	4.33
		面接	19	40	48	65	5.42	81.54	2	3	3	3	6	5	3	12	6	5	0	5	53	4.42
	計		202	198	204	209	17.42	91.39	10	15	15	12	11	15	20	28	25	15	8	17	191	15.92
	作業	身体	394	203	89	101	8.42	100.00	6	8	2	8	7	3	8	0	9	18	19	13	101	8.42
		職業	8	7	4	3	0.25	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		個別	35	171	202	201	16.75	59.70	8	12	10	8	11	13	14	9	9	9	9	8	120	10.00
	計		437	381	295	305	25.42	72.46	14	20	12	16	18	16	22	9	18	27	28	21	221	18.42
	カワアルス		--	--	--	--	--	--	65	66	62	33	25	17	25	21	30	34	23	17	418	34.83
	地域連携		--	--	--	--	--	--	78	88	92	47	42	30	44	47	39	50	62	51	670	55.83
病棟合計		7,521	8,947	6,821	4,001	333.42	96.30	369	391	379	321	233	254	313	319	321	320	339	294	3,853	321.08	
総合計		13,131	14,343	11,267	6,870	572.50	97.44	647	651	614	584	471	487	572	544	546	567	528	483	6,694	557.83	